

大府
かわら版

市民にもっと寄り添う市政へ

3月
議会

厚生文教委員会で質疑

3月議会は18日に閉会しました。今号では、厚生文教委員会における予算審議の一部について報告いたします。

日本共産党
久永かずえ
市議

介護保険事業

「障がい者控除対象者
認定書」の送付を

要介護認定を受けていることで「障がい者控除」の対象になる、ということを知っている市民は少ないのではないだろうか。実際に「障害者控除対象者認定書」を発行している自治体との比較で大府市は少なく168枚です。大府市には、要介護1以上で控除が受けられる可能性のある方は2500人おられます。現在の申請型ではなく「プッシュ型」で対象者に送付すべきという立場で議論しました。



●久永市議の質問——要介護1以上

を受けている市民に「障がい者控除対象者認定書」を送付していない理由は？

◆市の答弁——「障害者控除の対象となる障害者は所得税法施行令第10条に

限定列挙されており、介護保険法の介護認定を受けた人は規定されていないため、要介護認定を受けられただけでは障害者控除の対象とならない」と国のウェブサイトで示されているように、個別に確認が必要のため送付していない。

●久永市議の質問——対象となる人数と申請者数はどれだけか？

放課後児童健全育成事業

昼食の提供で職員に
どのような影響が？

響はない。

正規職員の配置を

●久永市議の質問——正規職員を

配置しない理由は何か？

◆市の答弁——市全体の定員管理の中で配置される。

●久永——では、いつ正規職員の配置を行うのか？

◆市の答弁——市全体の定員管理の中で対応する。

●久永——子どもの命を預かるという点では正規職員であるべき。必要性については大府市としてどのように考

◆市の答弁——要介護1以上の認定をされている方は約2500人程度。そこから認定書が必要な方、障がい者手帳をお持ちの方は除かれるため、要介

児童生徒指導推進事業

レインボーハウスで
給食の提供を

小中学校の長期欠席者が利用しているスピカ内に設置されているレインボーハウスが、大府市の東側（北中学校付近）に交流拠点も含めた施設として計画されています。様々な理由で学校に通えない児童生徒が通える施設ですが、給食の提供がありません。

●久永市議の質問——給食の提供を行う考えは？

弁当が準備できない家庭もある。温かい食事は精神の安定にもつながるため大事だと考える。提供していくことの大事さについては共感できるのではないかと考えるが、どうか？

◆市の答弁——現時点で、今のレインボーハウスでも提供していない。教育委員会と議論したうえで、提供しないことを決めた。

えているか？

◆市の答弁——放課後クラブだけでなく施設管理する職員全般だと思う。現場の管理については、正規職員が会計年度任用職員かを問わず所掌事務または職責に応じた職務として遂行する。

●久永市議の考え——（以上の質疑を踏まえて考えを述べました）

昼食の提供は保護者が待ち望んでいた一つ。昨年、試行運用は行っているが、指導員に負担はかからないとはいえず、問い合わせや、現場のトラブルなどの対応は指導員が行うことになる。事前の準備について、話し合いの中で確認していただきたい。

正規職員の配置を！

子どもの成長や災害時、保護者対応も含めて必要である。日頃の保育計画

相談はお気軽に
声かけください

生活相談

日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

4月16日(水)午後6時～

無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話